

船舶事故調査報告書

平成25年3月14日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵男（部会長）

委員 庄司 邦昭

委員 根本 美奈

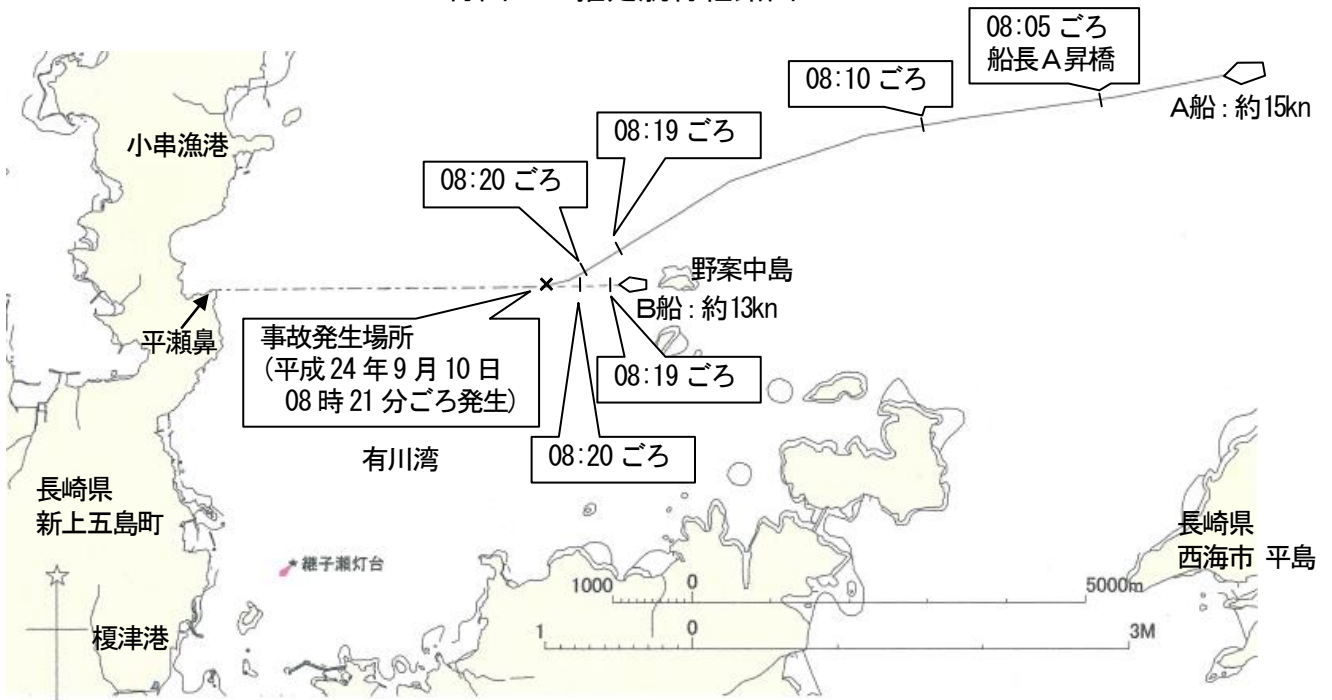
事故種類	衝突
発生日時	平成24年9月10日 08時21分ごろ
発生場所	長崎県新上五島町有川湾野案 ^{のあんじゅ} 中島西方沖 新上五島町所在の継子瀬 ^{ままこせ} 灯台から真方位042° 4,800m付近 (概位 北緯33° 02.0′ 東経129° 08.5′)
事故調査の経過	平成24年9月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	A 貨物フェリー シーカーゴ ^{ごとう} 五島、643トン 134605、美咲海送有限会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 70.50m×13.45m×4.80m、鋼 ディーゼル機関、1,471kW、平成9年6月19日 B 漁船 かな丸、4.9トン NS3-601896（漁船登録番号）、個人所有 11.25m (Lr) × 3.11m × 0.91m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数80、平成6年12月15日
乗組員等に関する情報	A 船長A 男性 39歳 四級海技士（航海） 免許年月日 平成24年5月29日 免状交付年月日 平成24年5月29日 免状有効期間満了日 平成29年5月28日 航海士A 男性 59歳 四級海技士（航海） 免許年月日 昭和57年12月21日 免状交付年月日 平成24年4月12日 免状有効期間満了日 平成29年4月30日 B 船長B 男性 75歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和58年4月21日 免許証交付日 平成22年5月19日 (平成27年12月26日まで有効)

死傷者等	A なし B なし
損傷	A 左舷外板に擦過痕 B 船首部のかんぬき右舷側に亀裂
事故の経過	<p>A船は、船長A及び航海士Aほか4人が乗り組み、航海士Aが、船橋当直に就き、長崎県西海市平島^{ひら}北方沖を約260°（真方位、以下同じ。）の針路及び約15ノット（kn）の速力（対地速力、以下同じ。）とし、新上五島町^{いのかきづ}榎津港に向けて自動操舵により航行した。</p> <p>船長Aは、入港操船に備えてふだんは08時25分ごろ昇橋していたが、本事故前日、有川湾内でとびうお2そうびき船びき網漁船が20隻ほど操業していたことから、本事故当日の平成24年9月10日は08時05分ごろ昇橋して同漁船がないことを確認し、船橋左舷後部でコーヒーを飲み始めた。</p> <p>航海士Aは、08時10分ごろ、有川湾入口の野案中島北東方約2海里（M）付近において、3Mレンジとしたレーダー画面で同島西方沖300m付近に2隻の映像を認め、双眼鏡を使って2隻の漁船が互いに接近して止まっていることを確認したのち、有川湾内の榎津港に向け、自動操舵装置の設定ダイヤルを回して徐々に左回頭を始めた。</p> <p>A船は、野案中島の北西方沖を約237°の針路で航行中、航海士Aが、08時19分ごろ、3Mレンジから1.5Mレンジに切り換えたレーダー画面で止まっていた2隻のうちのB船がA船の左舷側を航行しているのを認め、船橋左舷側の窓からB船が西進していることを確認した。</p> <p>航海士Aは、08時20分ごろ、左舷側から接近するB船を認め、これまでの経験からそのうちに漁船であるB船がA船を避けると思い、汽笛で短音1回を吹鳴して自動操舵装置の設定ダイヤルにより、約5°右回頭したのち、なおもB船が接近するので、更に汽笛で短音1回を吹鳴して自動操舵装置の設定ダイヤルにより、約5°右回頭した。</p> <p>航海士Aは、レーダー画面でB船のエコートレイルによる映像が右に振れたように見えて「あっ」と叫んだところ、船長Aが、異変に気付き、船橋左舷側の窓からB船が接近するのを視認し、汽笛で短音や長音を断続的に吹鳴した。</p> <p>A船は、更にB船が接近するので、船長Aの指示により、航海士Aが、自動操舵から手動操舵に切り換えて右舵一杯、続いて可変ピッチプロペラの翼角を0°としたが、08時21分ごろ左舷前部外板とB船の右舷船首部のかんぬきが衝突した。</p> <p>B船は、船長Bが1人で乗り組み、とびうお2そうびき船びき網漁業を終え、新上五島町^{いのかし}小串漁港に南方から回り込むように入港するため、08時18分ごろ野案中島西方沖300m付近を発進し、約13</p>

	<p>kn の速力で新上五島町平瀬鼻^{ひらせ}に向けて手動操舵により西進した。</p> <p>船長Bは、後方から汽笛が聞こえて周囲を見回したが、他船を認めず、B船と衝突するような船がいれば、そのうち見えるものと思い、航行を続け、衝突直前にA船に気付いて機関を中立にしたがA船と衝突した。</p> <p>船長Aは、両船の負傷者の有無や損傷状況を確認し、船舶所有会社に連絡したのち、海上保安部に通報した。</p> <p>(付図1 推定航行経路図、付表1 A船のAIS記録(抜粋) 参照)</p>
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西、風速 約3m/s、視程 約10M</p> <p>海象：海上 平穏</p>
その他の事項	<p>B船は、野案中島西方沖において、船首を南方に向けてとびうお2そうびき船びき網漁のえい網を終え、船長Bが、前方を見て右回頭しながら船首を西方に向けて発進した。</p> <p>船長Bは、両耳が難聴気味であり、右耳に補聴器を使用していた。</p> <p>B船は、船長Bが操舵室前部の舵輪後方で台の上に立って操船に当たっていたが、その操船姿勢では、操舵室右舷側窓後部の側壁により右斜め後方に死角が生じていた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり、B あり</p> <p>A なし、B あり</p> <p>A なし、B なし</p> <p>A船は、野案中島西方沖を南西進中、航海士Aが、左舷側から接近するB船を認めた際、これまでの経験からそのうちに漁船であるB船がA船を避けると思い、汽笛で短音の吹鳴を行い、自動操舵装置の設定ダイヤルにより2回の右転で約10°変針したのみで航行していたことから、更にB船が接近し、右舵一杯、続いて可変ピッチプロペラの翼角を0°としたが、B船と衝突したものと考えられる。</p> <p>B船は、野案中島西方沖を西進中、船長Bが、汽笛が聞こえて周囲を見回したが、B船と衝突するような船がいれば、そのうち見えるものと思い、見張りを適切に行っていなかったことから、A船と接近していることに気付かず、A船と衝突したものと考えられる。</p> <p>船長Bが、汽笛が聞こえて周囲を見回した際、A船がB船の右斜め後方の死角に入って見えなかったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、野案中島西方沖において、A船が南西進中、B船が西進中、航海士Aが、左舷側から接近するB船を認め、自動操舵装置の設定ダイヤルにより2回の右転で約10°変針したのみで航行し、また、船長Bが見張りを適切に行っていなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>

参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 両船が進路を交差させて接近する場合は、海上衝突予防法の航法規定を遵守し、接近する他船に対しては、速やかに、かつ、大幅な回避措置を採ること。・ 漁場などを発進する場合は、周囲の状況を確認した上で発進すること。・ 操舵室において構造物により死角が生じている場合、身体を移動するなどして死角を補い、周囲の見張りを適切に行うこと。
-----------	---

付図1 推定航行経路図



付表1 A船のAIS記録(抜粋)

時刻 (時一分一秒)	北緯 (度一分一秒)	東経 (度一分一秒)	船首方位 (°)	対地針路 (°)	対地速力 (kn)
08:04:38	033-03-16.6	129-13-11.2	259	258.1	15.2
08:08:56	033-03-07.4	129-11-54.4	260	260.6	15.1
08:09:14	033-03-06.6	129-11-49.1	261	260.1	15.1
08:11:40	033-03-00.3	129-11-06.0	250	250.4	15.1
08:15:31	033-02-41.3	129-10-00.2	239	240.1	15.2
08:16:44	033-02-31.2	129-09-41.3	236	237.3	15.5
08:17:32	033-02-24.8	129-09-29.1	236	237.3	15.6
08:18:31	033-02-16.6	129-09-13.3	237	238.5	15.7
08:19:02	033-02-12.4	129-09-05.1	237	239.2	15.6
08:19:55	033-02-05.2	129-08-51.0	237	238.6	15.7
08:20:28	033-02-01.2	129-08-42.0	254	253.6	15.5
08:21:20	033-01-58.5	129-08-29.6	235	237.6	7.3
08:27:51	033-01-44.1	129-08-24.2	202	182.5	1.3